

2020年11月16日

NEWS RELEASE

株式会社ティムス  
代表取締役社長 若林 拓朗

**TMS-007 前期第Ⅱ相臨床試験  
全被験者組入完了のお知らせ**

当社は、開発品 TMS-007（適応症：急性期脳梗塞）について、日本で実施中の前期第Ⅱ相臨床試験において予定していた被験者 90 名の投与を完了しましたので、お知らせいたします。

本試験は、発症から 12 時間までの急性期脳梗塞患者に対する安全性と有効性を検討することを目的とした、無作為化・二重盲検・プラセボ対照試験です。今後、90 日間の観察期間を経て、試験結果の解析を行う予定です。

TMS-007 について

TMS-007 は、カビの一種であるスタキボトリス・ミクロスポラが産生する化合物群 SMTP に属する新規低分子化合物の一つであり、生体が本来持っている血栓除去作用を増強する作用と抗炎症作用の、2 つの異なる作用を有すると考えられています。この独特な作用メカニズムにより、急性期脳梗塞治療の有力な治療薬となること、また既存の薬剤では発症 4.5 時間以内に制限されている治療可能時間を大きく延長することでより多くの患者の治療に資することが期待されています。

これまでの TMS-007 の研究開発は、東京農工大学、昭和大学及び東北大学との共同研究を通じて行われており、また国立研究開発法人科学技術振興機構(JST)及び国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構の支援を受けております。

株式会社ティムスについて

株式会社ティムスは東京農工大学大学院農学研究院 蓮見恵司教授の研究成果を実用化する事をミッションとして 2005 年に設立されました。現在、SMTP 化合物群を各種疾患の治療薬とするための開発を進めています。

(お問い合わせ先) 管理部 042-306-5078